

徳島市のまちづくり④「重要課題」について
(中心市街地・駅前のにぎわいづくり)

重要課題 評価シート

重点課題	中心市街地・駅前のにぎわいづくり
所管部課名	都市整備部 まちづくり推進課

1 目的

アミコビルを衰退させることなく、県都の玄関口にふさわしいビルに向けて再生するとともに、核となるアミコビルを補完する施設などの検討を行い、老朽化した公共施設などの再整備を模索する中で、中心市街地を、市民に安らぎを与え、そして多くの観光客に訪れていただけるような、にぎわいのあるまちづくりを進める。

2 事業概要

徳島駅周辺のまちづくりの方策や、中心市街地の活性化策を検討する。

3 これまでの経過（合意形成プロセス、検討経過）

年度	取組内容
H28年度	H28.6 新町西地区市街地再開発事業の現事業計画から撤退する方針を表明
H29年度	H29.5 新ホールの建設候補地を「徳島駅西側駐車場」に選定
H30年度	H30.5 老朽化が進んでいる市立体育館を別の場所に移転して建設する方針を示す H30.6 鉄道高架事業と一体的なまちづくりを行うための「徳島駅周辺まちづくり計画」策定 H30.9 新ホールの建設候補地を「徳島駅西側駐車場」から「文化センター敷地」へ変更表明 H31.3 「徳島市立地適正化計画」策定
R元年度	R元.6 新ホールの建設予定地の変更に伴い、「徳島駅周辺まちづくり計画」を修正 R元.10 「そごう徳島店」が令和2年8月末をもって撤退することを発表
R2年度	R2.8.31 「そごう徳島店」営業終了 R2.9 知事は新ホールについて、県市協調で県立ホールを整備する方針を発表。県青少年センターをアミコビルへ移転させる考えを示す

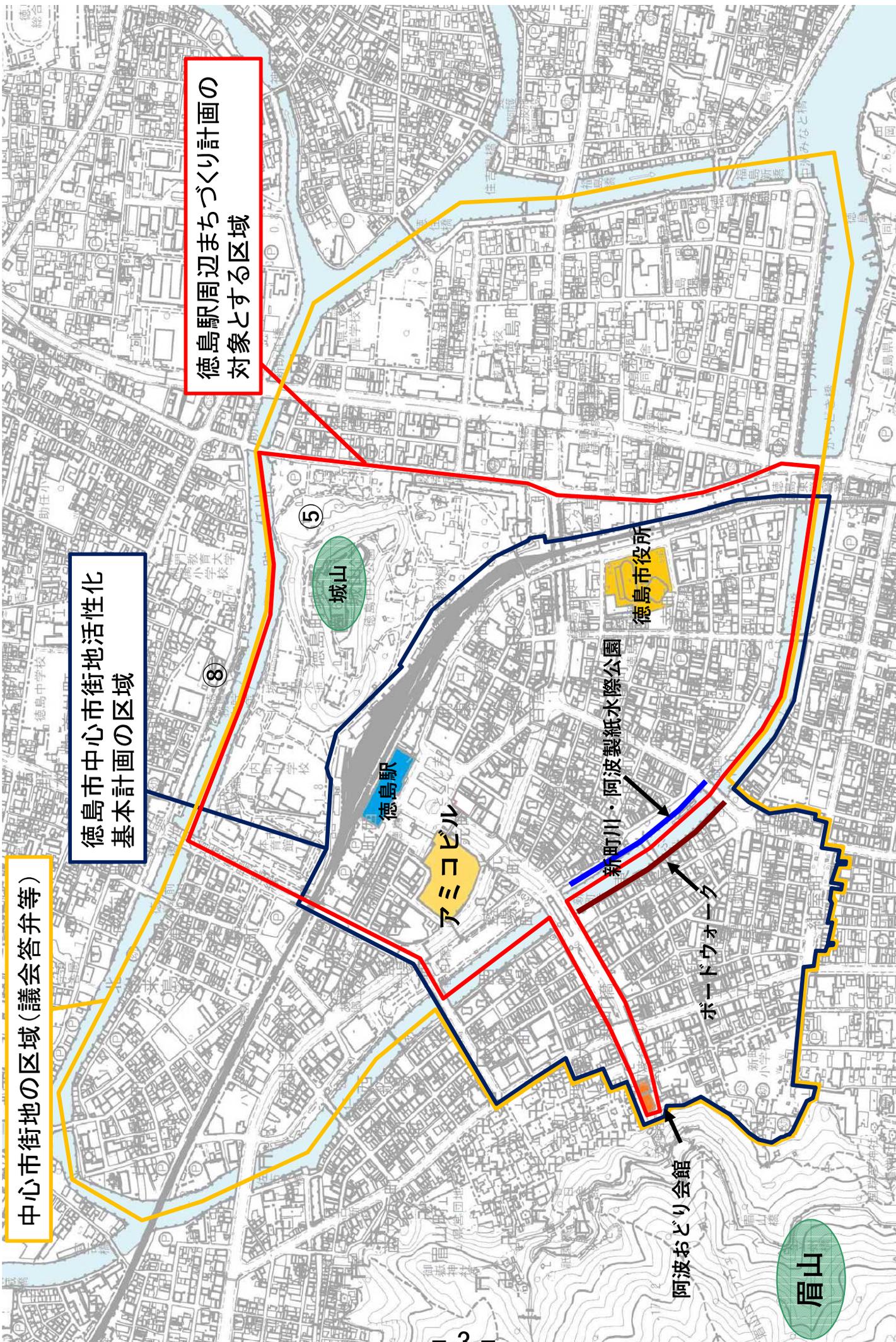
4 課題・問題点

「そごう徳島店」の営業終了に伴い、中心市街地の魅力や活力の低下が懸念されている。また、老朽化した公共施設の再整備等、今後のあり方を検討する必要がある、次のような課題がある。

- ・ 中心市街地の範囲及びゾーニング・コンセプト
- ・ 老朽化した公共施設の再配置
- ・ 中心市街地の魅力向上やにぎわいづくりのための施策、取組
- ・ 来街者の増加のために必要な施設、取組
- ・ 歩いて暮らせる、歩いて楽しめる都市空間のための取組
- ・ 既存ストック、空き店舗等の遊休資産の再生・活用案（低未利用地の利活用）
- ・ 「ひょうたん島川の駅ネットワーク構想」推進のための取組
- ・ コンパクト＋ネットワーク推進のための取組
- ・ スーパーシティ構想の実現に向けての整備

5 今後の方向性

都心の求心力を高め、多様でにぎやかな中心市街地の構築に向け、まちづくり総合ビジョンや立地適正化計画等との整合性を図りながら、県との協議により、中心市街地の活性化に向けたまちづくりに取り組んでいかなければならない。



中心市街地の区域(議会答弁等)

徳島市中心市街地活性化
基本計画の区域

徳島駅周辺まちづくり計画の
対象とする区域